

1 自己評価及び外部評価結果

平成 平成29年7月5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1670201357		
法人名	トータル・メディカル津沢株式会社		
事業所名	グループホームひだまり高岡		
所在地	富山県高岡市蓮花寺1-1		
自己評価作成日	平成29年5月30日	評価結果市町村受理日	平成29年7月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	北証パトナ株式会社		
所在地	富山市荒町2番21号		
訪問調査日	平成29年6月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者の自己決定の機会を大切にしている。職員、家族、医療、地域との情報の共有を図り、協力を得ている。「その人らしさ」「安心、安全」な生活を送ること、利用者が「ここが一番いい」と言ってくれるグループホームを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者一人ひとりの気持ちを大切に、和やかに過ごせるよう取り組んでいる。かかりつけ医を講師として看取りに対する研修を行うなど、医療機関との連携を図りながら職員間の終末期ケアに対する認識を高め、本人、家族の意向や思いに沿った支援に努めている。また、地域との関わりを大切にして、地域行事に積極的に参加し、近隣の人たちとも日常的に交流が図られている。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

グループホームひだまり高岡

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人としての理念、基本方針を日々のケアに反映できるよう努めている、日々のケアで話し合いながら実践に繋げている。	法人の基本理念を念頭に、管理者と職員は日常業務の中で、理念を共有できるように、研修会などで確認している。また、利用者が今まで過ごしてきた生活の「場」を継続できるよう取り組んでいる。	法人の理念および基本方針を基に、事業所独自の具体的理念を作成され、今後の実践に活かされることが期待される。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民館祭り、獅子舞いなどに参加している。利用者と散歩にでかけて顔見知りの近所の方からは、バラが咲いたから見に来なさいと気軽に声をかけてもらっている。	地域との関わりが大切と考え、行事には積極的に参加している。近隣の人たちも利用者を暖かく見守っており、散歩中に挨拶を交わしたり、見ごろになったバラ庭園にお誘いを受けるなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者と共に地域のオレンジ倶楽部に参加している。又14歳の挑戦で中学生を受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では施設の取り組みや行事、利用者状況を報告し意見を頂いている。地域の取り組みや行事についても情報を頂いている。	運営推進会議は定期的に行われ、自治会長や家族会代表などが参加している。事業所からはケアの様子などを報告しており、委員からは夜間の避難訓練についてのアドバイスや地域の情報を受け、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の議事録を提出する時、市町村の担当者に疑問や確認事項を尋ねている。	窓口である保険課には運営推進会議の議事録や「ひだまり通信」を提出し、事業所の様子などを報告している。担当者には、空室活用の相談をするなど、協力関係を築くよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>本社の全体研修で身体拘束の研修があり、事業所の職員も参加している。施設内で身体拘束について話し合う機会を設けながら、理解を深めている。</p>	<p>身体拘束を行わないケアについて、職員全員が共通認識を持つように、研修やミーティングにおいて確認しており、実践に繋いでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>本社の全体研修で高齢者虐待についての研修があり、事業所の職員も参加している。施設内で虐待について話し合う機会を設けながら、防止に努めています。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在成年後見制度を利用している利用者が1名いる。職員は制度を理解しているとは言い難いが、今後は研修に参加できる機会を設け制度の活用をしていきたい。</p>			
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時利用者や家族に説明している。納得できるまで丁寧に説明し理解を得ている。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から利用者や家族とコミュニケーションを取っているなかで、要望や意見を言える関係づくりを心がけている。意見や要望に対し職員と話し合いを行い実践に繋げている。</p>	<p>家族が面会に訪れた時や利用者の生活の様子を記録した「ひだまり通信」を毎月送り、家族の意見や提案を聞き取っている。寄せられた案件は職員間で検討し、運営に反映させている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段からのコミュニケーションを大切にし、ミーティング等で意見を出しやすい雰囲気作りに努めている。意見や提案は毎月行なわれる管理者会議で検討し対応している。	管理者は日頃から、日常業務の中で、話しやすい環境づくりに努めており、コミュニケーションを図るよう取り組んでいる。職員から出された意見や提案は、管理者会議などで検討し反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員個々の意見や職場環境の把握に努めている。又、毎月行なわれる管理者会議で検討し環境や条件の改善に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内外の研修を受ける機会がある。会社内では年6回の全体研修と年6回のグループホーム研修があり技術の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者による他事業所の運営推進会議への参加や管理者ネットワークでの情報交換を行いサービス向上に繋げている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人・家族様に見学して頂き安心して頂ける様な関係作りに努めている。又、事前の情報収集を元にニーズの把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に家族様から日々の様子や不安な事・要望を聞き取り、入居後も毎月近況報告をお便りで行っています。特変時には電話で報告・相談を随時行っています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族様の意向を把握し、サービス導入段階から安心してサービスを受けられる様努めている。又、状況に応じ随時支援方法の検討を行っている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすと言う意識を持ち、学び合い・励まし合い、喜怒哀楽を分かち合える関係作りに努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や毎月のお便りで本人様の状態を伝え家族様の意向を伺っている。病院受診など家族様に出来る事は協力して頂き、共に支えていく関係作りを行っている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	家族様の協力で墓参り等の機会を作る様努めている。面会時はゆっくり過ごして頂ける様な雰囲気作りを行っている。	近くの公園への散歩や、お店にタバコを買いに出かけるなど、利用者は普段の生活を楽しんでいる。家族の協力を得て、馴染みの場所へ花見に出かけたり、お墓参りに行くなど、関係が途切れないう、支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を把握し、適度な距離を保った交流が図れるよう努めている。また、洗濯物干し等の軽作業を通して、利用者様同士が協力し合える場を提供している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されている場合は病院に出向き面会をしている。施設に面会に行くこともある。又家族からの相談にも対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の会話や行動、表情等から気づきが出るよう努めている。少しの変化にも対応し、記録に残したり、職員間で情報共有したりし、意向に沿えるよう支援している。	利用者一人ひとりの関係性を築きながら、表情を見たり、気持ちを汲み取ることを心がけている。困難な場合は、生活歴を参考に時間をかけて思いを受け止め、職員間で情報を共有しながら本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでのサービス利用施設や病院等からの情報や、ご本人様やご家族様からの聞き取りにて把握できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リズムを把握し、適宜声かけや見守りを行っている。また、心身状態にも留意し、どのような時にどのような訴えがあるかの理解をし、少しの変化にも気づけるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開催し、意見交換を行っている。看護師や医師からの情報も頂き、定期的に計画作成・見直しに反映している。	利用者がどのように暮らしたいのか、また職員の手助けがあれば出来ることなどを常に話し合い、介護計画の作成に取り組んでいる。変動があれば随時見直しを図っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づきや様子は個別に記録をしている。他職員が記載した記録の読み返しをし、1日1日の状態をしっかりと把握できるよう努めている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問マッサージや訪問歯科医の診察等、その方に合わせたサービスとの連携を図り、提供している。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のお祭りや散歩への参加、ボランティアによる慰問への参加を促し、地域との交流を図っている。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居以前のかかりつけ医がある場合は、本人、家族の意向を尊重し、医療への連携を図り適切な医療の継続に繋げている。	本人、家族が希望するかかりつけ医の受診を支援し、いつでも適切な医療が受けられるよう、家族と連絡を取りながら取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連絡ノートや個人記録を活用している。申し送りなどで看護師と職員の情報共有が可能なよう努めている。往診や受診時の情報やその後のケアについて職員に説明している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時病院へ面会に出向いている。本人の状態を病院の看護師に尋ねたり、施設での様子など情報を提供している。退院時カンファレンスに家族と共に参加している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者が重度化した場合は、訪問診療の医師と家族も参加しカンファレンスを開催している。家族の意向を確認している。状態の変化があれば、家族に報告相談しながら医師との連携を図っている。	重度化や終末期のあり方については本人、家族の意向や思いを確認しつつ、医療との連携を図りながら取り組んでいる。またかかりつけ医を講師に看取りに対する勉強会を開くなど、職員も知識を高めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行っていないが、利用者の状態を観察し起こりうる事故を想定し職員と話し合っている。今年度はAEDの研修を予定している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回以上は避難訓練を行っている。消防署員の要請をし年に一度は、夜間想定避難訓練を実施している。	避難訓練は、あらゆる災害を想定し年6回行い、消防署員の指導の下、階段からの避難誘導も実施している。	今後は住民参加の避難訓練の計画もあり、避難場所での利用者の見守りを頼むなど、地域住民参加の訓練の実施が期待される。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は利用者の皆様に対し声掛けや態度に注意し対応している。また排泄や入浴などの際はさりげない声掛けを行うように努めている。	職員間で、利用者への声かけや対応などに注意し合い、人格の尊重やプライバシーを損ねない対応を行うよう、見直すことを心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望を聞き実現できるよう努めているが希望にそえないことがあり不安がある。利用者の皆様には選択できるよう声掛けし自己決定を促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはあるが利用者の皆様の体調や希望に合わせるよう努めている。意欲低下が見られる方には様子を見て声を掛け希望を聞きだすよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ボランティアを利用しメイク・化粧を楽しんでいただいています。服装は馴染みのある服や季節感のある服などを家族に協力して頂き用意している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは決まっているが旬の食材を使用し食事を楽しんでいる。利用者の皆様には下ごしらえや盛り付けを手伝っていただき協力し合いながら行っている。	畑で穫れたじゃがいもやたまねぎを使い調理の下拵えをするなど、利用者は楽しんでお手伝いしている。旬の食材を利用者は職員と一緒に味わいながら、楽しい食事時間を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食べる量を把握し、栄養バランスが崩れないように提供している。水分量では好みにあわせジュースやコーヒーなどを提供し必要量摂取できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い口腔内の清潔を保てるようにしている。自力で困難な方には介助をしている。夜間は義歯洗浄を行っている。随時歯科医の往診を受診できるよう支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間をみて声をかけトイレでの排泄を支援している。個々のパターンを把握し個々に合った対応を心がけている。失敗時には清拭やシャワー浴にて対応している。	排泄パターンを把握し、早めの声かけで手引き歩行や車椅子自走など、本人の力を引き出しながらトイレ誘導している。失敗のないよう時間をかけて取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便状況を把握し便秘の傾向が見られる際には牛乳などを提供している。又主治医にも相談し服薬などで対応することもあるが可能なかぎり自然に排泄できるよう努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2～3回ほど入れるよう努めている。状況によってはシャワー浴・足浴・清拭を行い皮膚の観察および清潔の保持に努めている。	利用者の希望や体調を見ながら、気持ち良く入浴できるよう取り組んでいる。入浴困難な時には清拭や足浴を行い、またドライシャンプーを使うこともあるが、その時々で身体の清潔保持を図っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の皆様の状況や体調にあわせ随時声掛けし休息が取れるよう支援している。安心して休める様見守りを重視している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの処方箋は必ず職員が確認している。心身の状態変化があれば主治医に報告し内服薬の変更があれば連絡ノートに記載し情報を共有している。内服は日付・本人の薬であるか確認し内服時は職員が傍にて飲み込みを確認。その後、内服のチェック記入を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の体調や気分を見ながら洗濯物たたみ・洗濯物干し・食器拭き・盛り付け等の手伝いをしてもらっている。また、本人の趣味を生かし楽しみをもっと頂き、苦手な事は押し付けないようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	全員での外出が難しくなっている。天気の良い日は1~2名ずつ散歩に出掛けている。春や秋には外食やピクニック、誕生日のお祝いに外食することもある。医療機関への受診はなるべく家族さんをお願いしている。お墓参り・親戚の家などへ外出される方もいる。	日常的にお天気や体調を見ながら、近くの公園や住宅地の花を見に出かけている。またドライブで季節の花見や行楽地へも出かけており、重度化されても行きたい場所があればお連れし、気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族より預かり金として本人が欲しい物、必要な物は職員が買い物時に購入している。また、利用者と買い物と一緒にいくこともある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の声が聞きたいと訴えのある方には施設から家族に電話し話をしてもらっている。家族・親戚・知人からの手紙は本人に渡し読んで貰っている。返信の手紙を書く人、書きたいけど書けない方には職員が代筆し職員が投函している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの掲示板や壁に利用者さんと一緒に作った季節を感じられるような作品や利用者さんの趣味を生かした作品を飾っている。また、利用者さんの日常の様子や行事等の写真も掲示している。	明るく風通しのよいリビングには、季節の花や笑顔の行事写真が飾られている。車椅子や歩行器がゆったり通れるようテーブルなどの配置にも気を配り、利用者は新聞を読んだり食器拭きを手伝ったりと、それぞれ穏やかな時間を過ごしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者さんを同じテーブルに配置したり、テレビの近くにソファを置きゆっくりテレビを観たり一人でくつろげる空間を作っている。利用者同士のトラブル等、問題がないようにマッチングには気をつけている。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で過ごしていた時を再現できるように昔から使用していた馴染みの家具・日用品・寝具を使って頂き、居心地よく過ごせるようにしている。	馴染みの家具やテレビを置き、家族写真や手作品を飾るなど、居心地良い部屋作りを家族と共に支援している。またベッドからの立ち上がりに不安のある利用者には、手すり補助具を置くなど安全面に配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせて家具やベッドの位置や高さ等を考えて配置している。居室やトイレの場所が分からない利用者の為に目印や大きな文字で記したりと分かりやすくしている。			

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームひだまり高岡
作成日 平成29年 7月 14日

【目標達成計画】

優先順	項目番	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念および基本方針を基に、事業所独自の具体的な理念を作成し、今後の実践に活かす。	職員一人ひとりが、理念を共有し本人らしく生活が送れる様、実践に繋げて行く。	ミーティング等の機会を活用し、事業所独自の理念を作成し、日々のケアで実践して行く。	1年
2	35	住民参加の避難訓練を実施し、避難場所での利用者の見守りを頼むなど、住民参加の訓練の実施を行なっていく。	近隣住民が参加し避難訓練を実施する。	運営推進会議で、避難訓練の実施計画書を見てもらい承諾を得る。自治会長に協力を仰ぎ、近隣の住民が避難訓練に参加して頂けるよう働きかける。避難訓練にあたっては、避難誘導の見守り等の協力をお願いして行く。	半年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。